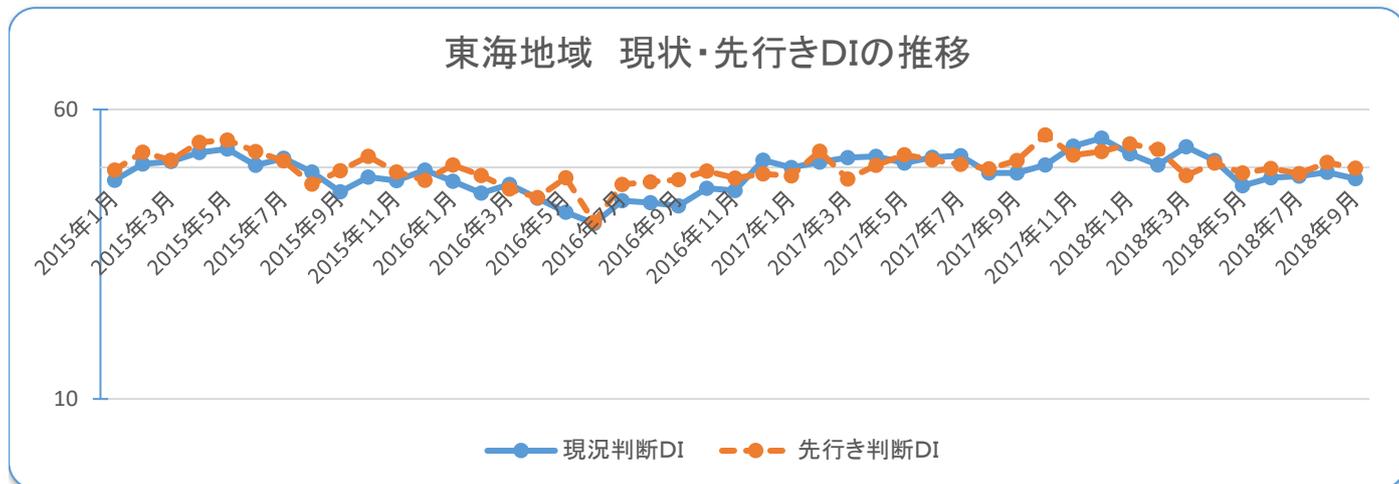


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2018年9月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》エコポイントから9年が経過し、映像商品を中心に販売が徐々に戻りつつあり、少し家電販売にも活気が戻ってきた。【家電量販店（店員）】
		不変	《お客様の動き》マンション、一戸建て住宅共に、来年の消費税の引上げを踏まえてということもあり、やや多くなっている。そのほか、最近の災害、台風等でリフォーム工事、特需工事が増加している。【付関連専門店（営業担当）】
		やや悪	《単価の動き》継続して来客数が減少し、客単価の右下がりの傾向がみられる。好調であった米飯の前年比は、前月よりマイナス1%で、災害による乳飲料、ソフトドリンク等の未入荷の影響もあった。【コンビニ（エリア担当）】
	企業 動向 関連	やや良	《取引先の様子》自動車産業、部品やメーカー等の工場体制については大きな変動はみられないものの、建築業等の業種等はかなり忙しいようである。現在も人手不足の状態が続いている。【金融業（従業員）】
		不変	《受注量や販売量の動き》販売量が横ばいで、販売価格も値上げが滞っており、原材料価格並びに経費の上昇も大きくなっており、利益が上がりにくい状況である。【金属製品製造業（経営者）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》7月頃までの納入前倒し依頼の動きが一段落して、半年前の状況に戻った。中国製原料の価格高騰は落ち着いたが、以前のように価格が下がる気配がない。【窯業・土石製品製造業（社員）】
	雇用 関連	不変	《求職者数の動き》例年の夏と比べ、暑さの影響も否定できないが、求人に一服感がある一方、有効求職者数や雇用保険受給者数が積み上がってきている。【職業安定所（所長）】
		やや悪	《求人数の動き》週末のスタッフ利用はやや悪く、特に平日の法人関係の利用が少なく悪かった。【人材派遣会社（社員）】
		悪い	《求人数の動き》新聞に求人広告を出す企業が激減している。前年の半分以下になっている。【新聞社〔求人広告〕（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	2～3か月先の予約数は現時点において、荒天の影響もあり、余り良くない。これから10月に入りもっと予約数は増えるが大きくは期待できない。しかし、11月はゴルフシーズンでもあり、9月のように低迷することはない。【ゴルフ場（支配人）】
		不変	秋の気候の動きで変化はあるが、商品の納入も安定的になっている。一部商品は納入がなく高騰しているが、代替え商品で対応できる。【スーパー（商品管理担当）】
		やや悪	夏場の異常な暑さの恩恵と10月のたばこ増税前の駆け込み需要による効果の反動が現れる点で、今よりも低迷が見込まれる。【コンビニ（商品開発担当）】
	企業 動向 関連	やや良	020年東京オリンピックに向けてのイメージで、建築業等においては、特に景気は若干右肩上がりのイメージが非常に強く感じられる。【金融業（従業員）】
		不変	個人投資家は現状と変わらず、一般の個人は収入が増えたという実感が余りないとのことであり、大きな消費に向かいづらい状況である。当面は現在の景気が続く。【金融業（企画担当）】
		やや悪	鉄鋼メーカーの材料値上げがあり、単価に反映されない仕事を取りやめざるを得ない環境に変わりつつある。工作機械の今後の見通しについても、減少傾向が顕著に現れてきている。【電気機械器具製造業（経営者）】
	雇用 関連	やや良	12月末に向けて、ボーナス支給後の転職を目指す人がこれから増えてくる見込みである。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		不変	改正労働者派遣法が労働市場にどう影響しているかは分からないが、今まで販売員を非正規で雇用していた大手小売業で人手不足から積極的に正社員求人に転換する動きもあり、景気の基調は変わらない。【職業安定所（職員）】
やや悪		従来、就職希望先より奨学金の給付を受けていた学生が不採用になること等なかったが、今年になり1名現れた。本人の資質によるものか、採用側の採用基準の変化によるものかは不明だが、周辺事情も含む雇用状況の変化を感じる。【学校〔専門学校〕（就職担当）】	